



伝説の舞台が演劇界最強のキャストとともに、パリを席卷！ 野田秀樹演出『贗作 桜の森の満開の下』が9月28日より開演 ジャポニスム 2018：響きあう魂



①初日のカーテンコール ②鳥居の上 耳男（妻夫木聡）、夜長姫（深津絵里） 中央 オオアマ（天海祐希）
③中央 耳男（妻夫木） 奥 赤麻呂（藤井隆） ハンニャロ（秋山菜津子） 夜長姫（深津絵里） photo : Nathalie Vu-Dinh

2018年7月よりパリを中心にフランスで開催中の日本文化・芸術の祭典「ジャポニスム 2018：響きあう魂」。その約70に及ぶ公式企画の一つ、野田秀樹演出『贗作 桜の森の満開の下』（主催：国際交流基金、国立シャイヨー劇場、東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）、NODA・MAP）が、パリ 国立シャイヨー劇場（ジャン・ヴィラル）にて、現地時間9月28日20時30分に開幕しました。

パリ・国立シャイヨー劇場の芸術監督ディディエ・デシャン氏が、「シャイヨー劇場でジャポニスム 2018を開催するならばぜひ、ぜひ、野田秀樹の作品を正式招待したい」と熱望。そして、その想いにこたえるべく、野田秀樹氏が望みうる、日本を代表する最高のキャスト・スタッフとともにパリ公演に挑みました。

野田氏が信頼する翻訳家コリーヌ・アトラン氏が、野田作品特有の台詞をパリならではの要素を盛り込みフランス語に翻訳し、字幕で上演。坂口安吾の小説をベースに野田氏が創り上げた早大な世界観は、みごとにパリの観客に受け入れられました。網の目のように複雑に絡まり合うストーリー、日本語で次々と展開されるスピードにも関わらず、成熟したパリの観客たちは俳優たちの演技に見入り、満員御礼の劇場の客席は大きな熱気と「ブラボー！」の喝采の拍手に包まれました。終演後、フランス人観客は、「フランスにはない表現やスピード感が印象的、日本を身近に感じる事ができた」、「美しい演出が素晴らしい。夢にみてしまいそう」など、感動した様子を口々に話していました。

野田秀樹氏は、東京芸術劇場の芸術監督に就任して以降、海外への発信、海外の劇場の交流を積極的に行い、2018年はヨーロッパツアー（ロンドン（英国）、シブウ国際演劇祭（ルーマニア）などにも参加。今回のパリでの公演は、今年2本目の海外公演となります。

報道関係者からのお問い合わせ先：

（独）国際交流基金ジャポニスム事務局/ジャポニスム 2018 PR 事務局 株式会社サニーサイドアップ内
担当：浅野憲央（070-3190-3708）、川合遼星、松瀬恵子

住所：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

TEL：03-6894-3201 FAX：03-5413-3050 E-mail：japonismes2018@ssu.co.jp



パリ公演 28 日初日直後のコメント

■主演：耳男 <妻夫木聡さん>

「日本でも、フランスでも演じる上では関係ないと思っていたけれど、始まった途端に、客席から感じた情熱的な匂いは、まさにフランスならではの感覚でした。

観客からは、期待感と同時に、いったいどんなものを日本人が見せてくれるんだ。

という、挑発的なまなざしも感じました。

言葉のテンポも速いので、フランスの観客に、この作品に込めた野田さんの考えがうまく伝わっているだろうかと気になりましたが、1 幕が終わったところで、客席から大きな拍手が沸き起こったのは、日本ではなかったことでした。やはり、野田さんの創る作品はパリでも愛されているんだな。と、確かな手応えを感じました。

この作品は、視覚的な日本らしさもさることながら、手作り感や泥臭さという日本人ならではの良さが多く詰まっていますので、本当に伝えたい日本人らしさを、パリの観客に感じてもらえたらと思います。



■演出・出演：ヒダの王 <野田秀樹さん>

「カーテンコールで拍手をもらっている時の顔は、きっと、こわばっていたと思います。

自分自身では、きっと良かったんだとは思いますが、観客からの大きな拍手や歓声を聞いても、まだ信じられない思いでした。

初日のパーティーで、観てくれた方の感想を聞いて、ようやく安心した。素直にうれしいと感じることができました。

アナログな見立てを取り入れた演出をすることには、勇気がいったんですが、坂口安吾は、「文学のふるさと」という言葉をつくりましたが、アナログこそ、「演劇のふるさと」だと、それが海を越えても通用するんだということを実感しました。これからも謙虚に邁進していきたいと思っています。



photo : Nathalie Vu-Dinh

報道関係者からのお問い合わせ先：

(独) 国際交流基金ジャポニスム事務局 / ジャポニスム 2018 PR 事務局 株式会社サニーサイドアップ内

担当：浅野憲央 (070-3190-3708)、川合遼星、松瀬恵子

住所：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

TEL：03-6894-3201 FAX：03-5413-3050 E-mail：japonismes2018@ssu.co.jp



■公演概要

- ・日時 : 2018年9月28日(金) 20:30開演(フランス初演) ~ 10月3日まで(10月1日休演)
- ・会場 : フランス・パリ 国立シャイヨー劇場(ジャン・ヴィラル劇場)
Théâtre National de Chaillot/ Salle Jean Vilar
- ・作・演出 : 野田秀樹
- ・出演 : 妻夫木 聡 深津絵里 天海祐希 古田新太
秋山菜津子 大倉孝二 藤井隆 村岡希美
門脇麦 池田成志 銀粉蝶 野田秀樹

池田遼 石川詩織 織田圭祐 神岡実希 上村聡 川原田樹
近藤彩香 城俊彦 末富真由 手代木花野 橋爪溪 花島令
藤井咲有里 松本誠 的場祐太 茂手木桜子 吉田朋弘

- ・主催 : 国際交流基金、国立シャイヨー劇場、東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)、NODA・MAP
- ・助成 : 平成26年度文化庁国際芸術交流支援事業
- ・オフィシャル・エアライン : 全日本空輸株式会社

■日本公演概要

- ・大坂公演(10月13日-10月21日) 大阪新歌舞伎座
- ・福岡公演(10月25日-10月29日) 北九州芸術劇場大ホール
- ・東京公演(11月3日-11月25日) 東京芸術劇場 プレイハウス

■劇場について

会場となったシャイヨー劇場は、フランス国内にある5つの国立劇場の一つ。1939年に創立され、パリ市内でもprestigeが高く、欧州でも権威ある代表的な舞踊劇場文化施設の一つとして知られています。シャイヨー劇場の2018年シーズンプログラムを発表した発表会に、日本から唯一野田秀樹氏が出席し、プログラムの発表を行いました。このシャイヨーシーズンプログラム発表の場に登壇することは、演劇界でも世界的に権威のあることです。

■ジャポニスム 2018 について

「ジャポニスム 2018 : 響きあう魂」では、パリ内外の100近くの会場で、展覧会や舞台公演に加えて、さまざまな文化芸術を約8ヶ月間にわたって紹介する、日本文化・芸術の祭典です。古くは日本文化の原点とも言える縄文から伊藤若冲、琳派、そして最新のメディア・アート、アニメ、マンガまで、さらには歌舞伎から現代演劇や初音ミクまで、日本文化の多様性に富んだ魅力を紹介します。同時に、食や祭りなど日本人の日常生活に根差した文化をテーマにした交流イベントなど、会期を通じて約70の公式企画を実施します。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を前に、日本各地の魅力をパリに向け、またパリを通して世界に向けて発信します。さらに日本国内における広報活動を通じて、日本文化を再発見できる機会も作っていきます。



ジャポニスム 2018

<https://japonismes.org/>

報道関係者からのお問い合わせ先 :

(独) 国際交流基金ジャポニスム事務局/ジャポニスム 2018 PR 事務局 株式会社サニーサイドアップ内

担当 : 浅野憲央(070-3190-3708)、川合遼星、松瀬恵子

住所 : 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

TEL : 03-6894-3201 FAX : 03-5413-3050 E-mail : japonismes2018@ssu.co.jp